

●第9回アジア・オセアニア生理学会連合大会 (FAOPS2019)・第96回日本生理学会大会 合同大会を終えて

第9回アジア・オセアニア生理学会連合大会 生理学研究所 鍋倉 淳一
第96回日本生理学会大会 生理学研究所 富永 真琴

第9回アジア・オセアニア生理学会連合大会 (FAOPS2019)・第96回日本生理学会大会合同大会が2019年3月28日～31日の4日間、神戸国際会議場および神戸国際展示場で開催されました。アジア・オセアニア生理学会連合はアジア・オセアニア地域の生理学の研究・教育の振興と若手研究者の交流を目的に、日本のリーダーシップのもと1990年に設立され、第1回大会がタイ・バンコクで開催されて以来、4年毎にアジア・オセアニア各地で開催されています。現在、14カ国のレギュラーメンバーと6カ国の準メンバーで構成されています。

大会準備

2011年の第7回FAOPS台北大会において開催されたFAOPSカウンシル会議において、第9回FAOPS大会が日本で初めて開催されることが決定しました。その後、FAOPS2019大会準備委員会が組織され、開催に向けた準備がスタートしました。アジア・オセアニア各国からの来日の利便性、会場費や国際会議の開催実績、自治体からの開催サポートなどを考慮して、また、毎年春に開催されている日本生理学会大会との合同大会であるとともに、ラマダンなどの多様な宗教における事情を考慮して、3月に神戸国際会議場・神戸国際展示場で開催することを決定しました。ホスト学会である日本生理学会に加えて、開催への支援を早々に表明してくださった日本体力医学会等の協力のもと、開催準備を行ってきました。

2015年の第8回FAOPSバンコク大会におけるFAOPSカウンシル会議においてFAOPS2019の開催概要の説明を行い承認されました。さらに、同大会においてジャパンナイトを開催し、アジア各国の研究者に広報活動を行いました。

その後、準備委員会から発展的に大会組織委員会を設置し、本格的な大会開催に向けて準備を開始しました。特に、FAOPS2019はFAOPS創設30周年の記念大会として、各国の期待が大きいことを組織委員一同肌で感じながら準備に取り組みました。この間、日本生理学会に加え、日本体力医学会および多くの関連学会の多大なる支援を頂きました。また、本大会の周知に向けて、FAOPS

や日本生理学会を通じたアナウンスに加えて、地方大会での周知活動、さらに、中国および韓国生理学会などを通じて広く参加の呼びかけを行いました。

FAOPS2019&第96回日本生理学会大会 合同大会

大会は、3月28日から31日まで天候にも恵まれた桜の開花時期に行われました。

本大会では、「Philosophy of Life: Function and Mechanisms」をメインテーマに、脳・心臓循環などの各種臓器機能、代謝やその生体における統合調節について、分子・細胞生理から組織・システム生理まで、幅広い研究と教育の向上を目指しました。そのために、最先端の研究成果をアジア・オセアニアの生理学者と共有するとともに、アジアにおける特徴的分野も中心課題に設定し、同地域における独創的な研究とともに若い研究者の交流を推進することを本大会の主要な目的としました。



参加者数および演題登録

大会参加者は当初予定数(1,800名)を大きく上回る2,251名(招待者120名を含む)でした(別表)。

日本を含む42カ国、内訳はアジア・オセアニアの加盟国以外のアジア地域、北中米およびヨーロッパ、さらにアフリカの国々からの多くの研究者や学生が一堂に会しました。特に中国本土からは165名、韓国から138名、台湾からは100名、前回大会開催国であるタイからは62名の参加がありました。アジア・オセアニア地域からの参加を促進するために、すべての企画・一般シンポジウムに対して旅費・参加費の支援を行うとともに、海外からのポスター発表者の中から学術的な観点に基づく審査により、39名にトラベルアワードを授与しました。中でも特に優秀な若手研究者に対して、Masao Ito Awardを授与しました。また34名には、参加費免除（早期参加登録費相当額の返還）の支援を行い、海外からの若手研究者の参加の促進をはかりました。

学術プログラム

学術講演は神戸国際会議場および神戸国際展示場の13会場において開催しました。

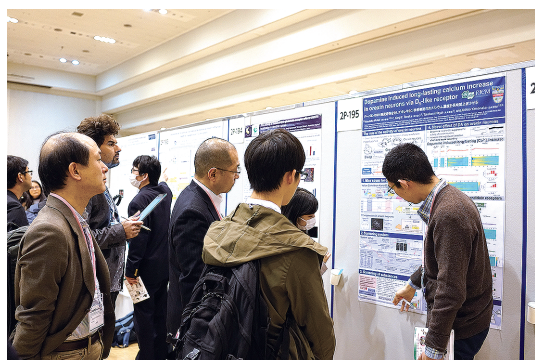
ノーベル賞受賞者であるLinda Buck教授（米国）および大隅良典教授（日本）、およびガードナー賞受賞者であるDavis Julius教授（米国）の3名によるプレナリー講演、アジア各地域・各国における著名な研究者9名（Heping Cheng氏；中国、Julie Chan氏；台湾、Uhtaek Oh氏；韓国、Laura Bennet氏；ニュージーランド、Robert Carroll氏；米国、Graham Lamb氏；オーストラリア、宮下保司氏、岡野栄之氏、柳沢正史氏；いずれも日本）による特別講演に加えて、体力医学会との共同特別企画として、スピードスケートの小平奈緒選手と結城匡啓コーチ（信州大学教授）によるスポーツ生理学に関する特別講演を行いました。



シンポジウムは、各FAOPS加盟国が主体となって企画する12のInternational Scientific Program Committee (ISPC) Symposium, 大会プログラム委員会が企画する15のLocal Organizing Committee (LOC) Symposium, 企業等が主宰する3つSponsored Symposium, および一般公募による53のGeneral Symposium, 計83を行い、生理学に関連する研究・教育の殆どの分野を網羅することができました。さらには、生理学実験に用

いられる実験技術を紹介する Technical Work Shop を2つの企業の主催で開催しました。また、蛋白構造解析に関する演習を目的とする Tutorial For Physiologists の実習も行いました。加えて、企業や科研費事業による10の Luncheon Seminar, 男女共同参画シンポジウムや分野融合的な学際シンポジウムなど多くの学術企画が開催され、いずれも熱心な学術的な討論が行われました。

ポスター発表は神戸国際展示場にて、主に29日と30日(2日目と3日目)に行われ(31日の4日目は受賞ポスターの掲示)、1,110題の発表があり、若手研究者を中心に熱心な討論が行われました。また、Journal of General Physiology の協力により同学術雑誌のスコープ(イオンチャンネル&トランスporter-関連分野)における優秀な発表に対して、JGP アワードが授与されました。ポスター会場では、企業展示に加えて、企業展示でもらうチケットで神戸スイーツを得る Physio Café も好評でした。(学術講演に関する詳細はFAOPS2019のホームページに掲載されています)



ソーシャルイベント オープニングセレモニー

3月28日の午後から、神戸国際会議場メイン会場にて、FAOPS2019 大会長の開会挨拶に引き続き、久本喜造・神戸市長による歓迎の挨拶、FAOPA 会長・Xiaomin Wang 教授(中国)、日本生理学会・丸中良典理事長および日本生理学会本大会長による挨拶、国際生理学会会長・Julie Chan 教授(台湾)のスピーチがあり、その後、FAOPS30周年記念式典が開催されました。30周年式典では、これまでFAOPSにおいて重要な役割を担われた金子章道先生(Secretary)・岡田泰伸先生(President)による挨拶、およびFAOPSの歴史の紹介とともに、これまでFAOPS設立・運営に大きな功績のあった方への感謝状が授与されました。また、FAOPS設立に際し特に大きな功績を残され、本大会直前の2018年12月に逝去された初代FAOPS会長・伊藤正男先生へ感謝の意を示すために黙とうを捧げました。



ウエルカムレセプション

オープニングセレモニーに引き続き、神戸国際展示場においてウエルカムレセプションを開催しました。神戸スーパーストリングオーケストラによる弦楽演奏や慈恵会医科大学学生によるジャズ演奏などで海外からの参加を歓迎しました。



コンgresディナー

30日に神戸ポートピアホテルにおいて、コンgresディナーを会費制で開催しました。主催者からの歓迎の挨拶や神戸市から寄付された樽酒の鏡割りを皮切りに、MASAO Ito アワード受賞者の表彰に引き続き、神戸大学合気道部による演武など日本文化の紹介を行い、レセプションに招待したトラベルアワード受賞者などアジア・オセアニア地区の若手研究者も含めて、参加者が親睦を深める和やかな雰囲気で行われました。



ミート・ザ・レクチャー

著名な研究者と若手研究者の交流を促進するために企画されました。プレナリー講演者のLinda Buck教授と特別講演者の岡野栄之教授が若手研究者からの様々な質問を受ける形式で行いました。直に接する機会の少ない著名な研究者からの意見やアドバイスを得られたことは若手研究者にとって貴重な機会になったことでしょう。

クロージングセレモニー

最終日にFAOPS2019大会長、FAOPS会長および日本生理学会理事長が、大会が成功裏に終了したことへの感謝の意を表明したのに引き続き、新たなFAOPSカOUNシルメンバーの紹介がありました。最後に、次回の第10回FAOPS大会開催国であるイラン生理学会へ、FAOPSフラッグの引き渡しが行われ、FAOPS2019は閉会しました。

アウトリーチ活動

小中学生参加イベント

3月30日に大阪大学国際医工情報センターの協力を得て「サイエンスプログラム：科学にふれる春休み」と題して、近畿地方の小中学生約120名を対象に行いました。午前の部は「ノーベル賞受賞者らの生の声を聞いてみよう!」というテーマでノーベル賞受賞者の大隅良典教授とアメリカのDavis Julius教授のお話を聞いて、質疑応答を行いました。午後の部は「からだのなかをしよう!」というテーマのもと「どうやって人は生きているの?」「音ってどうやって聞こえるの?」「どうやって人はものを見るの?」「どうやって人は脳で感じ、考え、動いているの?」の4つのセッションでサイエンスを体験しました。参加した小中学生たちの眼の輝きが印象的でした。



市民公開講座

3月31日に一般市民を対象に「料理生理学入門」というテーマで開催しました。講師として大阪大学名誉教授の小倉明彦先生をお招きしてお話を聞き、100名を超える参加者がありました。ふだん飲んでいるコーヒーやお茶、食べている料理が私たちのからだの中でいろいろに変化しながら様々な生理作用を発揮することを学びました。



サテライトイベント

Teaching Work Shop

日本生理学会教育委員会委員長の鯉淵教授が中心となって、3月27日、28日に神戸国際会議場で開催されました。多くの外国人参加者がありました。詳細は、別途、報告いたします。

NIPS/Thermal Biology Training Course

FAOPS2019参加者に、生理学研究所における生理学実験トレーニングコースへの参加希望者を

募集し、4月1日から5日間開催しました。国内旅費と滞在費は生理研から援助を行いました。5つのコース (Patch clamp and thermal imaging, Patch clamp recording from neurons in acute brain slices, in vitro/in vivo approach for evaluating cardiovascular function, Biochemical analysis of in vivo protein complex, Immunofluorescence staining of frozen tissue section) に9名が参加しました。参加者は全員女性であり、非常に熱心に実験技術の習得に取り組んでいました。最終日には5日間の実験結果の報告会を開催し、交流を深めました。



後 記

FAOPS2019大会を開催するにあたり、多大な御支援をくださった生理学会会員の皆様に深く感謝いたします。本大会は、学術的な観点のみならず、アジア・オセアニア地域の生理学者、特に若手研究者や学生に日本に対して興味を持ってもらい、今後、日本との交流を促進してもらうことを主要な目的としました。そのために、単なる国際大会ではなく、アジアから発信する独創的な分野や日本における最先端研究を紹介するプログラムを用意するとともに、若手研究者の参加を促進するための旅費等のサポートが重要な課題でした。また、国内以外の研究者に生理学の魅力を広くアピールする場を設けることも本大会は目指しました。そのため、2009年に京都で国際生理学会を開催した経験があるとはいえ、手探りで準備、大会運用でした。700名を超える海外からの参加を頂いたことは、ひとえに皆様の御支援の賜物と御礼申し上げます。

RECORDS

地域・国名	一般	大学院生	学部学生	招待者	業者	同伴者	総計	地域・国名	一般	大学院生	学部学生	招待者	業者	同伴者	総計
Australia	24	2		7		1	34	Netherlands	1						1
Canada	6	1		3			10	New Zealand	9	2		6			17
China	124	23	1	10		7	165	Nigeria	1						1
Cuba		1					1	Pakistan	2	1		1			4
Denmark	2						2	Philippines	19						19
Egypt	2	1					3	Poland	1						1
Finland	1						1	Qatar	1						1
France	3			1			4	Saudi Arabia	1						1
Germany	1		1	2			4	Singapore	5	1		2			8
Hong Kong	9	4					13	Slovenia	1						1
India	7	1		1			9	Spain				1			1
Indonesia	12	3	2	1		3	21	Sri Lanka		8	1	1			10
Iran		3		6			9	Sudan		2					2
Israel	4	1		1		2	8	Sweden	1						1
Japan	1,144	216	91	38	30	8	1,527	Switzerland				1			1
Jordan	1						1	Taiwan	56	29	6	8		1	100
Korea	67	58	1	10	2		138	Thailand	30	26		6			62
Malaysia	7	3		2		1	13	United Arab Emirates				1			1
Mexico	1						1	United Kingdom	7				1		8
Myanmar	1	1					2	United States	29			11		1	41
Nepal	2						2	Viet Nam	1		1				2
総計															2,251